

きょうと したぶんか しさくしんぎ かい 京都市多文化施策審議会

ニュースレター No.26



京都市
CITY OF KYOTO

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

京都市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

へんしゅう きょうと したぶんか しさくしんぎ かい じむきょく きょうと し そうごう きかくきょくこくさい か すいしんしつ
編集：京都市多文化施策審議会事務局（京都市総合企画局国際化推進室）

2021 (令和3) 年 3月発行

2020年度京都市多文化施策審議会を開催しました！

2020年4月1日付で新たに7名の委員が委嘱され、第6期の「京都市多文化施策審議会」を実施しました。

第1回会議

日時：2020年9月3日(木) 午前10時～正午
場所：京都市役所 分庁舎4階 第5会議室

第2回会議

日時：2021年2月4日(木) 午前10時～正午
場所：京都市役所 分庁舎4階 第6会議室



京都市多文化施策審議会第6期委員 (敬称略)

	氏名	職名又は国籍・背景となる国
指名委員	大熊 晋	伏見青少年活動センター所長
	孫 美幸	文教大学准教授
	浜田 麻里	京都教育大学教授 (公財)京都市国際交流協会理事
	藤田 裕之	京都市国際交流会館館長 (公財)京都市国際交流協会専務理事
公募委員	カラバイン セスカ	[中国]
	ベンジャミン クウエク ドゥホ	[ガーナ]
	ポンキワラシン プラー	[タイ]

○指名委員は市長が適当と認めた者を委嘱

<2020年度第1回会議について>

事務局からの報告

(報告者：京都市総合企画局国際化推進室 森本交流推進担当課長)

1 新型コロナウイルス感染症を踏まえての本市の取組について (一例の紹介)

- ・外国籍市民からよくある問い合わせを一覧(英訳付き)にまとめ、本市のホームページに掲載。
- ・京都市国際交流会館のホームページに、新型コロナウイルス感染症に関する支援情報などを多言語で紹介する特設ページを創設。
- ・外国籍の方が「特別定額給付金」の申請を正しく行えるように、テレビ会議アプリ「ZOOM」を使ったオンライン説明会を京都市国際交流会館において実施。



2 地域日本語教育に係る取組について

- ・近年、日本語教育を推進するため、国が法律や方針を策定。
 - ・京都市国際交流会館の指定管理者である、公益財団法人京都市国際交流協会が、文化庁所管の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」(補助金)を申請。
- ⇒日本語教育に関する企業へのニーズ調査、オンラインによる日本語教室の立上げ、既存の日本語教室の充実、日本語教育人材に対する研修などを実施予定。

3 京都市国際戦略ビジョン(案)について

- ・「京都市国際化推進プラン(改訂版)」が、2021年3月末に計画期間を終えることから、今後の本市が目指す国際都市像の実現に向けた方向性を示す「京都市国際戦略ビジョン(案)」を策定予定。
- ・同ビジョンにおいて、多文化共生については、本市が目指す国際都市像の1つである「多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち」の箇所に主な内容を掲載。

上記の国際都市像を目指すための取組の方向性(4つ)

- (1) 多言語による情報提供・コミュニケーション支援
- (2) 外国籍市民等が安心・安全に暮らせる体制整備
- (3) 外国籍市民等による地域・市民活動への参加促進
- (4) 外国籍市民等の地域での就労支援

委員の皆様からの御意見(抜粋)

- ・外国籍の方に対する差別や偏見がコロナによって強くなったと言われているが、これまでからあった課題がコロナによって表面化してきたということではないか。
- ・相談窓口で外国籍の方を適切な窓口案内しても、案内先の職員が多言語対応できないことが不便。
- ・外国籍の方にとって、多少の言葉の壁があっても困ったときに助けてくれるような人間関係があれば、コロナ禍のような異常事態の際にも安心できるのではないか。
- ・コロナを含めた、外国籍の方への情報発信として、動画での配信はとても良いと思う。
- ・日本語教室については、外国籍の方にとって昼間に参加することのハードルが高いため、オンラインで実施するならば、後で見れたりするなど、対策を考えてほしい。
- ・日本語教室を実施するだけでなく、何か日本語を学ぶモチベーションにつなげるための場づくりや機会も与えるべきではないか。
- ・ビジョンには、ポストコロナ社会における視点、観光客や留学生の数字を元に戻すのか、どうしていきたいかが入っていない。

<2020年度第2回会議について>

事務局からの報告

(報告者：京都市総合企画局国際化推進室 森本交流推進担当課長)

1 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた本市の現状について

(1) 京都市における外国籍住民基本台帳登録者数推移 ※各年12月末現在

2015年	41,609人
2016年	42,567人
2017年	44,282人
2018年	46,451人
2019年	48,773人
2020年	45,637人

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度から約3,000人減。
- ・在留資格別にみると、「留学生」が約2,400人減少し、一番の減少要因となっている。

(2) 京都市外国籍市民総合相談窓口におけるコロナの相談件数

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
相談件数	2	33	54	32	33	33	36	21	9	2	6

(相談例) PCR検査はどこで受けられるか。 特別定額給付金の書き方を教えてほしい。 など

・2020年11月1日から、24時間対応の「きょうと新型コロナ医療相談センター(※)」が設置され、京都市国際交流会館に設置している、京都市外国籍市民総合相談窓口への相談件数は減少。

※英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語(10時から20時)・タイ語(9時から18時)に対応。

2 京都市国際戦略ビジョン(案)について

- ・2020年12月14日から2021年1月22日までパブリックコメントを実施。
- ・パブリックコメントの結果・対応等について共有。
- ・2021年3月に最終版を市会に報告し、完成予定。

3 多文化施策審議会と国際化推進プラン点検委員会(※)の統合について

(1) 統合を検討するに至った理由

(背景) 近年、国において、改正入管法の施行や「外国人材の受入・共生のための総合的対応策」の策定など、外国人との共生社会の実現に向けた取組が推進されてきた。

本市においても、そうした国の動きや外国籍市民の増加に伴い、多文化共生に資する取組への関心が特に高まっており、引き続き多文化共生施策を前進させていく必要がある。

(課題) ・多文化共生に資する議論の場の安定的な確保

- ・2つの審議会における議論内容の重複

近年、国際化推進プラン点検委員会においても、多文化共生に関する議論が活発化。

(統合への期待) 国際化推進プラン点検委員会の委員にも新たに参画いただき、国際交流も議論の内容に含めていくことで、多文化共生に資する議論に新たな視点も加えることができ、国際都市としてのあるべき姿の実現に向け、より充実した議論が可能となる。

※「京都市国際化推進プラン」に掲げる施策の進行状況及び本市の国際化のための取組に関する事項について審議する附属機関。

(2) 新しい審議会の役割

- ・京都市が進める国際交流・多文化共生の事業について、事務局からの取組状況の報告を受け、意見交換を行う。
 - ・その年度・時期における旬なテーマ・事業を、会議の場で取り上げ、議論を行う。
 - ・おおよそ2年に1度、市に対し提言を行う。
- ⇒議論いただいた内容は、各担当部署にフィードバックし、既存の事業や新規事業の参考にする。

(3) 新しい審議会の構成

- ・指名委員7名、市民公募委員3名（**現在** 多文化施策審議会：指名委員4名、市民公募委員3名）
- ※市民公募委員については、現状の多文化施策審議会の委員数を確保
- ⇒従来からの「外国籍市民の方々の意見を市政に反映する場」としての役割を維持。
- ※新しい審議会については、令和3年度に市会へ関連議案を上程予定。

委員の皆様からの御意見（抜粋）

- ・コロナに関する情報発信について、外国籍の方にとっては理解が難しい言葉が使われていることもあるため、わかりやすい言葉で説明してほしい。
- ・行政からの情報はたくさんあるが、それが日本語だったり、正しくない翻訳だったりするため、情報がしっかりと相手に届くよう、丁寧な情報発信に取り組んでほしい。
- ・外国籍の方の中には、日本で使用できる電話番号を持っておらず、電話での通訳サービスを利用できない方もいるため、そういった方々への対応も今後検討していく必要があるのではないかと。
- ・特にコロナ禍においては、人とのつながりを求めて相談窓口で電話をかけて来られる外国籍の方も多く、メンタル面での支援も必要であると感じる。
- ・コロナワクチンについても、京都に住んでいる外国籍の方がきちんと受けられるように、しっかりと情報提供してほしい。
- ・日本の学校に通っている外国にルーツがある生徒で、普段の読み書きや会話は問題なくできるが、学習に必要な言語能力が十分でない生徒もおり、今後そういった生徒への支援を充実させてほしい。
- ・審議会の人数が増えることで、より議論が深まるような会議体制にしてほしい。
- ・審議会開催にあたっては、各委員が事前に資料を読み込み、考える時間がもう少しあるといい。

事務局からのお知らせ

各審議会の当日資料等は、京都市のホームページからご覧いただけます。

(第1回) https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/shingikai_kekka/sogo/0000274655.html

(第2回) https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/shingikai_kekka/sogo/0000280690.html

ニュースレターや審議会に関する御意見などがございましたら、事務局までお寄せください。

また、審議会ニュースレターのバックナンバーを御希望の方は、事務局までお問い合わせください。

<京都市多文化施策審議会事務局>

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 京都市総合企画局国際化推進室

TEL：075-222-3072 FAX：075-222-3055 Eメール：kokusai@city.kyoto.lg.jp



京都市
CITY OF KYOTO

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



発行：京都市総合企画局国際化推進室
京都市印刷物第024895号

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！

